

よこみね緑地とナラ枯れについて

よこみね緑地は、はるひ野の北側に広がり、川崎市でも数少ない湧き水があり多くの生き物が生息する貴重な里山です。

この里山にも全国的に被害が広がっている、ナラ枯れが広がっていて、特に多摩市との境のよこやまの道沿いの多くのコナラの樹に被害が見られます。道沿いのコナラが枯れると倒木で危険なので、川崎市に伐採等の対策を提言していますが、緑地で里山ボランティア活動をしている、**水辺のある里山を守る会**も伐採や駆除シートを巻き、伐採跡に若木の植樹なども進めています。

ナラ枯れとは： 主に、コナラやクヌギの樹の幹に、**カシノナガキクイムシ**が幹に入り込み、**ナラ菌**を感染させ、樹が根から水を吸い上げるのを阻害するため、急速に樹を枯らせてしまいます。又、幹の中で繁殖し越冬した多くの幼虫は6月を過ぎると成虫になって飛び出し、他の多くの樹に拡散させます。

よこやまの道沿いのコナラの被害木

はるひ野の北側の稜線になり、よこやまの道沿いには多くのコナラが見られますが、その多くの樹にナラ枯れの被害が発生しています。

被害木には、幹に害虫が入り込んだ孔が多く見られます。

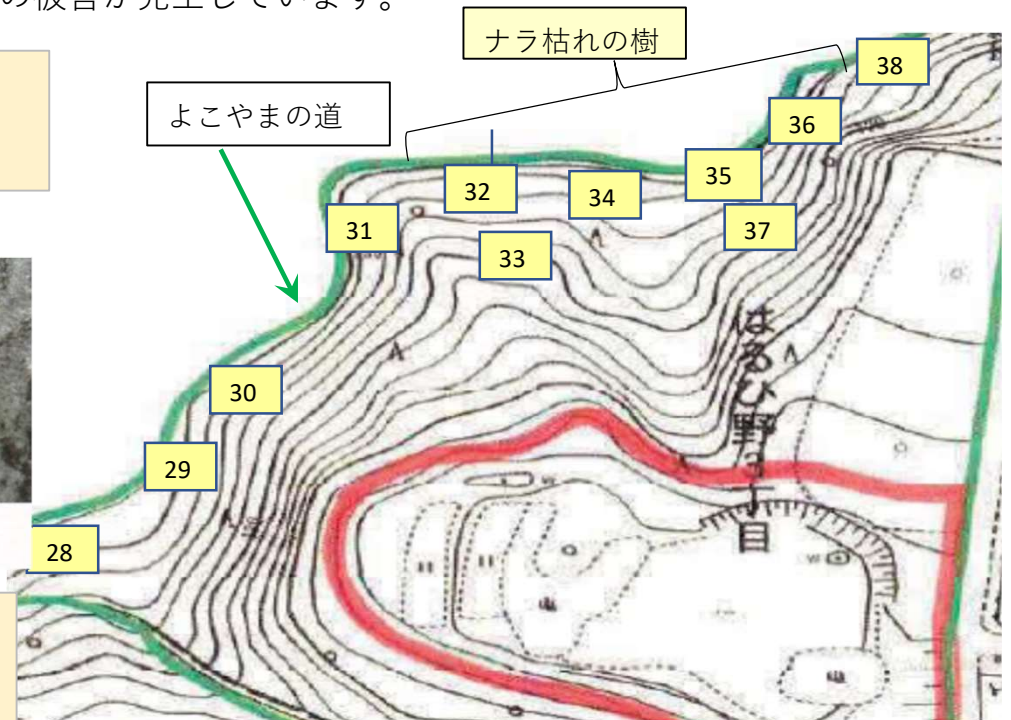


写真 3a) 穿入孔とフラス

被害木の根元には、害虫が孔をあけた木くずが見られます。



写真 2) フラスの堆積状況



No. 3 6 倒木おそれ



No 3 8 倒木おそれ